

令和7年度【東京】特別学生臨時中央審査会〈11月〉 実施要項

1. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
 2. 主管 東京都弓道連盟
 3. 期 日

審 査 日	種 別	締切日 (厳守)
令和7年11月29日(土)	初段	令和7年9月29日(月)
	四段	
	五段	
令和7年11月30日(日)	弐段	
	参段	

※ビデオ審査は実施しない

4. 受審資格 地連に所属している大学生会員（短期大学・大学院生含） ※高等専門学校・専修学校除く

種別	受審資格
弐段	令和7年6月30日までの初段合格者
参段	令和7年6月30日までの弐段合格者
四段	令和7年6月29日までの参段合格者
五段	令和7年6月29日までの四段合格者

5. 会場・住所 全日本弓道連盟中央道場（明治神宮武道場至誠館第二弓道場）
 東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL:03-5302-5865

6. レポート課題

- ・ 学科試験に代わり課題のレポート提出とする。
- ・ レポートは**自筆**でA4版(全弓連ホームページに学生審査用の様式あり)1枚にまとめ、**審査申込書とともに提出のこと。**
- ・ レポートには必ず課題を記入し、回答すること。
- ・ レポートの受審番号・採点欄は空欄のままとして提出のこと。

種 別	レポ ー ト 課 題
初段	1. 「射法八節」を順に列挙し、「*足踏み」を説明しなさい。
	2. 弓道を学んで良かったと思うことを述べなさい。
弐段	1. (立射での)「矢番え動作」について説明しなさい。
	2. あなたの弓道修練の目標について述べなさい。
参段	1. 「射法・射技の基本」を列挙し、「呼吸(息合い)」について説明しなさい。
	2. 日常修練で仲間の安全の為にどんなことを心掛けていますか。
四段	1. 「矢の処理の三原則」を列記し、「甲矢筈こぼれ」の処理を説明しなさい。
	2. 「礼記-射義-」「射法訓」の教えの要点について述べなさい。
五段	1. 「肌ぬぎ」又は「襷さばき」の注意点について説明しなさい。
	2. 全弓連が公表している「自然・環境保護憲章」についてあなたの考えを述べなさい。

7. その他
- ① 本連盟ホームページに掲載の「審査規程」・「令和7年度中央審査会受審にあたって」を確認して受審すること。
 - ② 五段受審者は、和服を着用し、本座で肌脱ぎ・襷かけを行うこと。
 - ③ 申込書の学年は、審査日当日のものを記入し、大学院生の場合は学年の前に「院」と記載すること。
 - ④ 立射で受審する際は、申込書右下の受審者連絡欄に立射で受審したい旨を朱書きし、地連会長の承認を得るとともに、当日受付でその旨を申告すること。
 - ⑤ 申込み締切後、進行表を地連に通知し立順番号毎の入館指定時間を、本連盟のホームページに掲載する。指定時間前に入館はできない。

以上